

第11回「文芸思潮」現代詩賞 発表

第11回「文芸思潮」現代詩賞

最優秀賞

第一回「文芸思潮」現代詩賞に多数の御応募をいただきまして、まことにありがとうございます。おかげさまで今年も日本全国および海外から五七〇名という多くの方に御応募いただき、充実したコンテストとなりました。心から御礼申し上げます。

五月末に締め切らせていただきました応募作の中から、まず選考委員会予選担当によって第一次予選、第二次予選、第三次予選の選考が行なわれました。それらを通した作品を対象に、九月二十七日、松尾真由美、五十嵐勉の各選考委員により、最終選考が行なわれました。厳正な審査の結果、以下の通り決定しましたので、ここに発表させていただきます。

今回も佳作・入選レベルの層に作品が多く集まったことから、昨年に引き続き「佳作」「入選」としてより幅広く顕彰することになりました。奨励賞および佳作の作品の中にも多くの方に読んでいただきたい作品がたくさんありますので、それらの作品も、できるだけ「文芸思潮」ウェブおよびインターネット誌上に掲載させていただきます。

現代詩賞の授賞式は、まほろば賞、エッセイ賞、イラスト・漫画賞と併せて、明年二〇一六年一月一日（金曜日）午後二時より東京都大田区下丸子の大田区民プラザにて行なう予定です。今年は大田区民プラザ改修工事のため、ウィークデーしか会場が空いておらず、ご不便をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。受賞者以外の方も御参加できますので、親睦を兼ねて、お誘いの上ぜひ御来場ください。

第十二回「文芸思潮」現代詩賞は、明年も今年とほぼ同じ要領で募集を行なう予定です。どうぞ奮って御応募ください。

「文芸思潮」現代詩賞選考委員会／文芸思潮

優秀賞

「受胎」「ランドスケープ」「ある日」

由木名緒美（福島県会津若松市）

「一周、あるいは一瞬で季節はめぐる」

桜川涼子（佐賀県杵島郡）

「へのへのもへじ唄」「はてるともなく命」

「白い腹」 後藤順（岐阜県岐阜市）

「誕生忌」「ひぐらしのいも」「死児のためのおもちや箱」舟橋空兎（愛知県尾張旭市）

「水飴」「放課後」「頭巾」

草野理恵子（神奈川県横浜市）

奨励賞

「ブラッチャンペイント氏の戦き」

鈴木シユウ（東京都品川区）

「奏楽」「風紋」「光の窓」

青木由弥子（東京都大田区）

「くわいえつとていくおふ」
「ゆにばーさるきっちゃん」
「らふんつえる」

戌丸ぜの（山形県寒河江市）

「技芸天」「蕪島」

清水一美（東京都立川市）

「夢の跡」「鳥の形」「駱駝の眼」

遠藤芳子（東京都狛江市）

「黒い揚羽を頼って」

高橋朋央（岡山県岡山市）

「アウラの塔」「ホラーサバイバル…エネミーサッチャー」「異世界で会って、せめて異世界で在って」通称水飴（東京都板橋区）

「種」「春の憂鬱」「いつか」

麻生ゆり（福岡県北九州市）

「レクイエム錠20mg」「遊びと夢」「impluvium（雨ノ降り込ム庭）」浅見龍之介（埼玉県草加市）

「Single Seed」「Angel」「A」

中村郁恵（北海道札幌市）

「終わらない春」「発作」「フラッシュ／バック。」

日正士郎（神奈川県相模原市）

「レジン」「ジャック」「受刑」

深町秋乃（熊本県熊本市）

「取りつく島」「遅刻」「免責事項」

江田つばき（千葉県市原市）

入選

- 「ふるさとの風」「土に還った父」 葛岡昭男
 「ふゆのはなびら」「雪を降らせた」 高橋杜子美
 「「血」への回答」「信仰」「幻想組曲」 芳賀哲也
 「そっと涙ぐむ」「もうつかれてしまった」 添田美世子
 「言の葉によせて」 阿古詠治
 「灰色」「望まぬ海」 石留柘榴
 「ケイヘ」「同時代」「詩人」 関戸都志正
 「今日を受領する」 いしぎけいこ
 「刃の蝶」「湖面の天体」「薄荷の詩」 月許温授
 「怪獣」「方言詩」「ぷらんぷらん」 滝野澤弘
 「閉じこもる心」「喋らない君へ」 日野雄啓
 「ギンドロの丘紀行」 八重樫克羅
 「冬の沼」「バラレルな画布の光景」 日野笙子
 「救助と幸福」「零歩」 西村奈央
 「巨大肝囊胞」 西條由美子
 「石の軌跡」「命題」「木橋」 大西久代
 「孤村点描」「農の村」 佐藤清助
 「たのみます」「西域の少女」 深山斐太
 「しらす」 あおい満月
 「こと たま」「花は」 今田真理子
 「狂人静養日記」「何度目の春」「負け犬」 森破裂
 「花束」「菓の架け橋」 久井千岳
 「太陽を信じる桜(ひと)」「冬の風鈴」 原田あき
 「心の翼」「君に戦場で会ったなら」 まーっん
 「酷暑の想い出」 田舎者

佳作

- 「アラベスク」「エロティック」 渡辺ゆふ
 「憂夏1」「憂夏2」「憂鬱」 添美
 「春望」「慟哭」「夜明け」 宮下萌
 「俺の心臓は魂で」「結婚式」 蒼井坂じゅり
 「駅I」「駅II」「駅III」 北原満
 「大きな壁に向かって」「月はみている」 清原雅富
 「北極振動」「ポアンカレの糸」 浅野慎太郎
 「母と休日とわたし」 鳥羽アザ美
 「光源まで」「セビーリヤの太陽」 石井春香
 「自死の兄」「夢追い」 寒川靖子
 「酔ふてさうらふ」「あの蓮は」 高藤典子
 「Calling」「3月の詩」「stella」 アイラ・アリス
 「電車に乗ったある雨の日の心象風景」 弥生雨美
 「サンドラホテル」「商談あるいは」 田中淳一
 「羊歯の花」 関根裕治
 「寄る辺なき」「そのひとは」「円環」 大山元
 「均衡点」「不動点」 優谷明広
 「幻想の中の詩」 千草ちとせ
 「空の礎」「世界認識のまわり」 波の源
 「低気圧」「ぬかるみの乳齒」 灯千華
 「へびさま」「つばさはないけれど」 柴田あき
 「風の電話」 岡西通雄
 「ノラ犬」「ようかい」「宴」 池山弘徳

- 「12月の疼痛」「蚊柱」「溺れる人魚」 そらの珊瑚
 「水槽」「迎る」「旅路」 立葵
 「三十路盤」「新しい光合成のしかた」 町田理樹
 「ふと、立ち止まれば」「寄り添いながら」 三浦恵子
 「慟哭」「射手」 十路田道広
 「百番線のムカデ」「明るい町」 菊池智弘
 「フットボールが上滑りする」 蒼井未龍
 「二つの2の狭間で」「summer ROSES」 緒川けい
 「灰色のコーク」「藍色のメッツコーラ」 岡崎師
 「愛の位相多様体」「Human age」 Keisei
 「夜明けの國」「私、発光体」 北埜ユリコ
 「嘘憑き」「虚空探査」 古田ひさし
 「雪と国」「ワクチン」「意味のキー」 merongree
 「母と休日とわたし」 鳥羽アザ美

- 「巨人の嘆き」「IKB」「女の贖い」 富田実加子
 「夏がくる」「愛児」「縫う」 行待文哉
 「老いを美しく」「残す言葉」 山崎文男
 「中性子爆弾が落ちた日」「花」 清水A璃阿
 「やがて浄化されゆく」「Our stealing future」 安藤緑青
 「夏の宿題」「消エティク女ノ物語」 宮田まさゆき
 「殺戮の詩」「叛逆の詩」「退廃の詩」 谷村光
 「リバース」「パドック」 立山紘
 「闘いに出る時の詩(宣誓)」 三川嶺
 「頼らない孤独」「記憶は沈んだ」「足枷」 瓦穀紗樹
 「葛藤」 千葉颯丸
 「パルミラ」 いとうよる
 「秋風」「柿の木」 加藤あや
 「酸素」 古屋朋
 「群れ」「何処へ」「離れイタコ」 福島敏真
 「ブルース」 阿江栄章
 「インディアナポリス」「酩酊小町」 伊豆野丁字
 「窓」「部屋のなか」「はろーあげいん」 布目有里
 「光の王国」「弾倉にダムダム弾・愚カ者の夜」 西嶋颯
 「予感」「犠牲と復讐」「再生のために」 城戸祐介
 「神秘よさようなら」「雪」 渡辺八畳
 「プリズム」「海のなか」「名もない夕暮れ」 勝田愛
 「コレクション」「開いて」「くゆらし」 中野橙
 「足」 佐々木万里子
 「a星アクルックス実務認定証書」「星群探知機」 月白尚
 「奇妙にまばゆく」「僕のユーフォリア」 燈檺屋のかた
 「サイコロ坂道、誤解堂」「ほのおのとり」 北未知子
 「灰色、孤独な世界」「空虚な蒼に触れる時」 北村光